

## 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会書面開催による委員の皆様いただいたご意見・ご感想

### 1 いじめの認知件数について

意見
年齢が高くなる程、ネット上のいじめが増大しているように感じるため、さらに自分を大切にすると同時に他人を大切に意識、善悪の判断、集団や社会の一員としての自覚など社会性を身に付けさせる必要があると考える。
中学校の認知件数が減ってきたことは良いと思います。しかし、SNS関係が増加していることは、今後も注視していく必要があると思います。SNSの使い方の指導や、どこまで学校が介入していくのか等も含め、対策を講じていかなければならないと思いました。
中学校の認知件数が減少しています。生徒の意識が高まり、いじめが減少傾向になっているならば、とてもよいことだと思います。
小学校・中学校とR元年との比較で増減しており、それが多いのか少ないのか不明です。
中学校は減少したが小学校が増加していることが気がかりである。小学校は、いじめの態様はからかいや悪口など言われたり叩かれたりすることが多いが、中学校はSNS上でのいじめが増えていることで対応の困難さを感じる。
認知件数が多いということは、いじめをきちんと把握できていることで良い事だと思う。
氷山の一角だと思うので、増減に一喜一憂するのではなく、数字に表れないいじめをいかに拾い上げるかに努めていく必要があると思いました。
いじめの認知件数については、龍ヶ崎市全体の件数としては抑えられている状況ですが、実際には認知できない事案もあると思いますので、更にこまめにアンケート調査等を実施していじめを早期発見し、それぞれ対応していければいいと思います。
いじめの認知件数については、多いように感じますが、いじめの定義を認識しており、隠さずに報告している証拠だと感じます。いじめ解消の件数も多く、早期発見・早期対策をしているからこそその数値だと思います。小学校の態様別の件数「ウ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」が高いのが気になります。この数値にコミュニケーションをとる力が不足しているのかもしれませんが。逆に中学校では、この項目が減っているのはコミュニケーションをとる力が身につけてきたからではないかと考えました。コロナ禍の中、センターと学校が協力してと取り組んだ成果だと思います。
各校とも、小さな事も大きく捉えて対応しているのでいじめの認知件数も増えているのだと思います。「いじり」や「ちょっかい」から発展して対象となった子どもが苦しむような事になる前に早期対応が大切だと思います。

### 2 令和2年度はいじめ未然防止の取組と成果・課題について

意見
それぞれの学校がそれぞれの問題把握を行い、それに対応し、これからの課題も把握が出来ていると思う。特にスマートフォンの普及等に伴い、小中学生の用いるコミュニケーション手段にSNSが圧倒的な割合を占めるようになってきている。また、課題においてもSNS関連のトラブルが出てきている。SNS等を活用した相談体制の整備の充実も図ってほしい。
各学校で実態と課題にあった取組がなされていると思います。いじめがどういうものであるかや、いじめをしてはいけないということは多くの生徒が理解してきていると思います。いじめに遭遇したとき、人に相談するには勇気が必要です。いじめを見たときに傍観者にならないためにも勇気が必要です。いじめをしないという心の強さも必要です。積極的ないじめ未然防止という観点で考えると、このような勇気や、強さを育てていく取組も今後は必要になってくると思います。

どの学校でも、定期的なアンケート調査・教育相談、道徳科の授業や特別活動等の充実、校内体制の充実等の取組がなされ、成果を上げていることが分かりました。  
SNSやオンラインゲーム等によるトラブルについては、未然防止の対策がまだ十分でないように思います。家庭との連携も含めて具体的な対策がとれるとよいとおもいます。  
普段の授業を大切に、授業の中で児童生徒のよりよい人間関係づくりをしていくという意識を、先生方の中で高めていけるとよいと思います。

各小中学校とも未然防止に取り組んでいただいているところであり、成果も記載していただいています。しかし、これらが「1」の認知件数とどのように関係しているかが不明です。引き続き、組織的に取り組むことが大切だと思います。

各学校で、定期的なアンケート調査やQ-Uテスト、SSTを実施するなど実態把握やスキルを身に付けさせることをこつこつ実践している。また、多くの目で児童・生徒をみとっていき組織としての対応もなされている。そういうことの成果もあげられている。

子どもや保護者にとってはやはり担任との信頼関係が大事になってくる。担任として気づける感性や普段から話を聴く力をみがいておく必要がある。そのための研修の場が必要。

定期的なアンケート実施や教育相談により、小さなうちに解決できているかと思う。  
教育活動全般において人権を意識した活動がいじめの未然防止に役立つと思う。

各校、大変努力していると思いましたが。ただ、人には他人より優位に立ちたいという欲求がある以上、いじめをゼロにすることは不可能だと思います。学校や教育委員会で抱え込むのではなく、他の支援機関などと連携を取り、学校以外の道でも支障なく社会へ出られるような世の中になったらよいと思います。

現在各校において実施しているいじめ防止策は、成果が出ております。今後はいかに早急にいじめを認知し、対応できるかが課題だと思います。

どの学校もいじめ未然防止に誠実に取り組んでいただいていることがよく分かります。成果と課題が学校の教職員で共通理解しているからこそ、子ども達が安全・安心に生活できているのだと思います。中学校区で同じようないじめ未然防止策が継続されていたり、お互いのいじめ未然防止策を知っていたりするとさらによいのではないかと思います。（9年間を見通した、いじめ未然防止策）

本校も実施していますが、職員総会等で各学級の様子を全職員で共有できるようにし、いじめが大きくなる前に小さな段階で対応できていること、また担任だけでなく生徒指導主事や管理職も入り、早急に児童、保護者へ対応できていることがよい。道徳の授業や学級活動、日常的に人権意識を高めていくことで、教師も児童も一人ひとりを大切にする気持ちももてるようになっていないかと思う。教師自身が口先だけでなく日常の中で一人ひとりを大切にしている態度や指導が必要だと思います。

### 3 教育センターの取組について

#### 意見

新型コロナウイルスの影響により、自粛期間が長期化したことで、ネットいじめに関する相談が普段の3倍ほどに増加していると聞いている。SNS相談事業・啓発事業等による取組について難しいところが多いと思うが、継続して今まで以上にきめ細やかな対応をお願いしたい。また、先生の疲れ→話を聞けない→イライラが募る→いじめの発生という負の連鎖が起きないように教職員の皆様へのケアもお願いしたい。

いじめの未然防止に向けて、いろいろな角度からアプローチしていただきありがとうございます。特にSNS相談事業に関しては、時代の流れに即した取組であると思います。

教育センターにおける対人行動への支援については、乳幼児期からの関わりが最も大切と考えられます。情報化社会で生活する子供たちを見守る支援者1人1人が相談の現状を認識し取り組む必要があると思われました。

数多くの相談の対応，本当にありがとうございます。この毎日の地道な相談事業こそが一番有効な対応だと思います。

SNS相談事業は，とても効果のある取組だと思います。相談一つ一つに対応するのは大変だと思いますが，ぜひ，今後も継続してほしいと思います。

脱いじめ傍観者プログラムと茨城県スクールロイヤーによる出前事業は，学校外の講師の先生方による授業で，児童生徒たちにはとても印象に残るものになっています。こちらもぜひ継続して行ってほしいと思います。

教育センターは，学校とは異なり，通所や相談しやすい場所だと思いますので，引き続き尽力願います。

来所，SNSなど窓口があるので助けを求めるチャンスが増えて良いと思う。

今後も現在の活動を続けてもらいたいです。

スクールロイヤーによる出前授業に参観させていただき，生徒の授業に対する態度が非常によかったのを覚えています。専門家はやはり違うなあと思いました。脱いじめ傍観者プログラムについても非常に大切に効果的だと思います。

いつもご苦勞様です。重層的な対応をされていて非常によいと思います。いじめについては，学校や教育委員会に対策や課題が集中し，責任追及がなされていますが，家庭等が「逃げ場」としての機能を失っているのが大きな問題なのではないかと思います。

SNS相談事業で相談しやすくなっていると思う。学校と連携することで，1歩前に踏み出して解決にむけて対応できていると思う。これからも，いろんな相談がしやすい方法を継続し，対応していただけると助かります。そして学校とも情報を共有してできるだけ解決の方向に導ければと思います。

#### 4 質問等

小学校ア・イ・ウに関してR元年度より増加傾向に見られるが，高学年に多いのでしょうか？

〈質問についてのお答え〉

・中学年から高学年に多い傾向があります。定義に従い，本市では，些細なことであっても行為を受けた児童が辛い思いをしたとあれば，いじめとして認知しています。ただ，この増加を受けて，令和3年度は，児童生徒に人権意識を高める取組を共通課題として，各校の実状に応じて取り組むようにしていきたいと考えております。

方向づけをいつもありがとうございます。

今まで大変お世話になりました。教育センターの皆さんには，たくさんの児童，保護者の相談にのっていただき情報をいただけたこと，心より感謝申し上げます。すぐに学校へ連絡をいただけたので早急に対応することができました。これからもよろしく願いいたします。